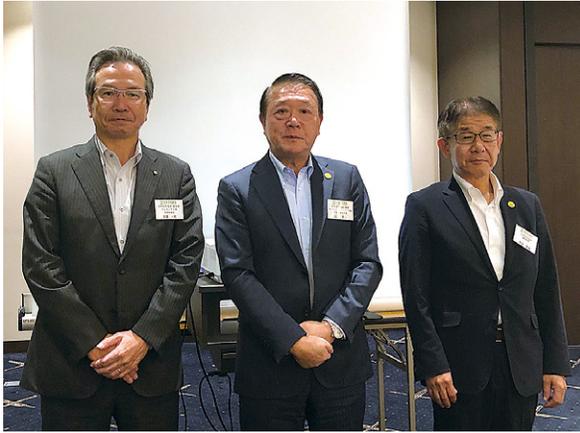


酒類・食品 & News 解説

週刊

令和6年7月26日(金曜日) 第3406号
(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)
毎週金曜日 発行 編集発行人 石母田 健
購読料 6ヵ月 14,300円(税込み)
振替番号 東京4-71739
発行所 株式会社日刊経済通信社
本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル9階
☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600
名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791
http://www.nikkankeizai.co.jp/



上期の豆乳生産量 1.4%増で回復へ

日本豆乳協会は16日、今年度の活動に関する記者発表会を都内で開き、山崎孝一会長(キッコーマンソイフーズ社長・写真中央)、加藤一郎副会長(マルサンアイ常務取締役・同左) 杉谷智博事務局長(同右) が出席した。

冒頭、山崎会長は「昨年の記者発表会で『生産量100万klを狙える市場』と話したが、それだけのポテンシャルがあると見ている。今後大きな目標を持って美味しさや豆乳ならではの価値を伝え続けることが重要。」

豆乳協会、'24年度は新企画を続々展開

今年はいつでも、どこでも豆乳生活」をテーマに新たな情報発信に取り組み。飲料として・食べもの(料理用途)として間口を広げながらより多くの方に楽しんでもらえるよう励みたい」など、あいさつ。

「2020年に過去最高の生産量となる約43万klに到達して以降、反動や価格改定の影響もあり足踏み状態が続いたものの、24年上半期(1~6月)は前年比1.4%増と4年ぶりに回復。多くの方が健康的な生活を意識し、効果ができる豆乳に回帰している事などが推察される」などと説明した。

283kl(0.9%増)、「果汁入り豆乳飲料」は7949kl(1.1%増)、「フレーバー系の豆乳飲料(その他)」は2万3389kl(3.1%減)、「その他」は6217kl(2.1%減)となった。

24年度は、さらなる豆乳市場の拡大を目指し、豆乳の日(10月12日)のある10月を「豆乳月間」と位置付け、新たな取り組みを続々と展開する。

①「豆乳×観光地パツケージキャンペーン」②豆乳の日(10月12日)を含む

主な内容

ニツカ、創業90周年 12 13 面
「ウインク」120周年イベント 7 面
「AUCCB」30周年 3 面
カゴメ野菜摂取推進 4 5 面

5月のみそ出荷量 9 面
フーズ新健康ブランド 14 面
産業界・冬の新製品 5 面
シア・モ春の冷食抽選会 11 面
トップサポロ野瀬社長 15 面
直撃インタビュー 8 面
◎原料商品情報

のリニューアルをするとともに、引き続き、オウンドメディア「なんでもわかる豆乳あるあるマップ」で、豆乳の成分や期待される効果についてあらゆる角度から情報を発信。ターゲット別に成分を訴求するリーフレットや季刊ニュースレター「SOY MILK NEWS」も発行する。

